

～あなたも古代の扉を開きませんか?～

かじ やま こ ふん

梶山古墳壁画一般公開

壁画公開の期間

平成 24 年

10月5日(金)～7日(日)

午前9:30～午後4:00迄(雨天決行) 無料

(解説員による説明があります。)

《同時開催》

10月6日(土) 橋本廃寺跡特別公開

午前10時～午後4時迄

【問合せ先】

〒680-0047 鳥取市上魚町 39

鳥取市教育委員会文化財課

電話 0857 (20) 3367

FAX 0857 (20) 3050



三角文



同心円文



曲線文



同心円文

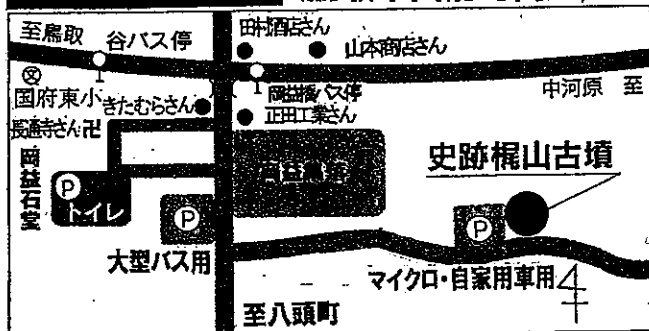


三角文



魚

梶山古墳案内図 (鳥取市国府町岡益)

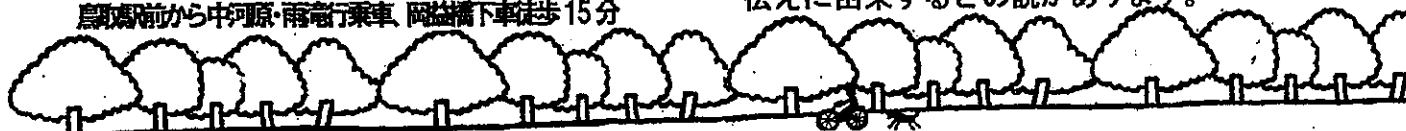


鳥取駅前から中河原・雨竜行乗車、岡益橋下車徒歩15分

玄室奥壁の彩色壁画模式図

史跡梶山古墳の壁画

壁画は魚が主題となっており、鮭か鯉といわれています。鮭は、亡くなった人がもう一度生き返り、生前の姿を見せてほしい気持ち。鯉は、鯉が滝を登ると竜に変わる「竜門の鯉」の中国の古い言い伝えに由来するとの説があります。



梶山古墳の概要

1. 遺跡名称 国指定史跡 梶山古墳 昭和54年4月21日指定

2. 種類・時代 古墳・7世紀初頭 飛鳥時代

3. 規模・現状 ○石室…… 玄室(長さ2.4m 幅1.36m 高さ1.64m)
玄門(高さ1.5m 幅0.76m)
前室(長さ2.8m 幅1.64m 高さ1.7m)
(1段天井石が高くなっている場所 高さ2.1m)
羨道(長さ3.2m 幅1.4m)

○彩色壁画

魚(体長53cm・幅22cm)・三角文・同心円文・曲線文

○変形八角形

対角長(17.0m 一辺2.5m~8.5m)

○方形壇

現石垣高(1.7m~2.0m)

(推定石垣最大高3.0m 推定延長14.0m)

4. 所在地 鳥取市国府町岡益

5. 古墳の概要

石室は凝灰岩の切石を使い、とてもいねいにつくられた横穴式の石室です。石室の構造は、玄室(遺体を埋葬した部屋)、前室、羨道に分けられ、玄室と前室の間には、扉石をはめ込む加工の施された玄門があります。玄室奥壁には、魚、三角文、同心円文、曲線文等の彩色壁画があります。壁画は、魚が主題になっており、①鮭か②鯉といわれています。①は、亡くなった人がもう一度生き返り生前の姿を見せて欲しい気持ち。②は、鯉が滝を登ると、竜にかわる「竜門の鯉」の中国の古い言い伝えに由来するとの説があります。古墳の形は、変形八角形墳で、北東隅の一辺が他の辺に比べると極端に短いのですが、馬蹄形の地形に制約されながらも八角形にこだわったものとみられています。又、古墳の南側には石垣で囲まれた方形壇(祭祀。お祭りの広場)が確認されています。この方形壇は、高さ約2.0m、東西方向約14.0mという大規模なもので、石垣で構成されています。築造方法は、緩やかな谷の斜面を堅い地盤まで削った後、灰・土器片混じりの土で整地し、その後外側を取り巻く石垣が築かれるのですが、更に内側の見えない部分に石垣を築き、第2段目の石垣が崩れるのを防ぐ「埋め込み」という特殊な工法を採用しています。方形壇の築造方法が発掘調査で明らかになったのは初めてで、全国的に類例のない築造方法です。

梶山古墳は、変形八角形墳に大規模な方形壇が備わっていたことがわかり、築造した有力者は中央に匹敵する文化的、政治的勢力を持ち合わせていた豪族とみられています。